

平和堂のサステナビリティ活動 平和のハト



地域社会のために つくします

平和堂は、地域社会の一員として、よりよい社会をつくるための取組みに注力し、「環境」と共存する会社を目指しています。

2020年度の活動

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ママさんバレーボール大会・福井綱引大会などのスポーツイベントや、企業と連携した環境体験活動、また5ADAY食育体験ツアー、収穫体験ツアーをはじめとする食育活動を自粛させていただきました。しかし、そうした状況下においても、対策を講じながらできる活動を模索してきました。

食育推進活動

「食」の大切さを届ける食育イベント「レシピ」

地域のお子様を対象とした食育イベント「レシピ」。当初は、4人のパフォーマーが登場するパフォーマンスショーをライブ上演する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑みパフォーマンスショーを録画し、映像上映に切り替えました。

映像では、「赤」「黄」「緑」、3色の食べ物をバランスよく食べよう！をテーマにストーリーを展開し、多くのお客様に楽しくご観覧いただきながら食べる大切さを感じていただきました。映像上映以外にも、食べ物にまつわる謎をときながら館内をまわる「食育なぞときツアー」や、バランスのよい平和堂オススメの献立を紹介するレシピの配布なども同時開催し、たくさんのお客様にご参加いただきました。

開催店舗

アル・プラザ水口、アル・プラザ鶴見、アル・プラザ宇治東、アル・プラザ城陽、アル・プラザ富山、アル・プラザ津幡、ビバシティ彦根



▲食育パネルの展示



▲食べ物をバランス良く！平和堂オススメレシピのご紹介

参加人数
【上映】 **1,541**名

参加人数
【なぞとき】 **758**名



▲「レシピ」出演者の皆さん



食育なぞときツアー▶



パフォーマンスショーの映像上映▶

地域との共創活動

子ども環境学習(平和堂エコピースクラブ)

近隣の小学3~4年生を店舗へ招いて環境学習をおこなう「平和堂エコピースクラブ」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、店舗での受け入れを中止していましたが、各店では店長が小学校を訪問する出前授業に切り替えて実施しました。出前授業では、店長が先生役となり、店の仕事の内容や環境への取組みを講義させていただきました。



▲出前授業の様子

VOICE

子ども達が笑顔で学べました

今回の出前授業では、お店に見学に行くより多くの質問をすることができたので、子ども達もお店のしくみについて多くを学ぶことができ、このような形で実施していただき感謝しています。



彦根市立旭森小学校 教諭 星野 亜友美様

出前授業
実施件数

27校

参加児童数

1,475名

滋賀県の子ども食堂を支援

平和堂では「ライフスタイル総合(創造)企業」として、子ども食堂の活動をより多くの方に知ってもらい、子ども達の健康な成長に寄与し、ひいては地域活性化の一端を担うため、滋賀県内の子ども食堂への支援を2017年から継続しています。年に2回、店舗にてお客様と社員から募金を募り、集まった募金と平和堂からの拠出金を合わせて滋賀県社会福祉協議会を通じて寄付支援しています。

2020年度はさらに、同協議会の「滋賀の子どものほほえむカサポート事業」に協力し、7月1日から8月31日までの2か月間にわたり、滋賀県内75店舗において募金活動を実施。お客様をはじめ、地域の皆様、従業員からお預かりした約105万円を同協議会に寄付し、新型コロナウイルス感染症の影響により困窮されている世帯の子どもの支援に役立てていただきました。

また、子ども食堂の活動を少しでも多くの方に知っていただくため、「子ども食堂フェスタ」や「子ども食堂カレーサミット」に運営スタッフとして参加しています。

※ 子ども食堂

貧困家庭や孤食の子どもに対し、食事や安心して過ごすことのできる場所を提供することを目的に始められた社会活動で、最近では地域のすべての子ども、親、地域の大人など、対象を限定しない食堂も増えています。地域のボランティアなどで運営し、公民館等の公的施設で月1~2回程度開催の食堂が多いです。



▲子ども食堂の様子

寄付
(2020年4月3日)

3,584,084円

寄付
(2020年10月27日)

3,096,000円

累計
(2017年~2020年)

22,619,104円



▲贈呈式

「平和の森づくり」活動

平和堂では社員とその家族のボランティアによる森林保全活動「平和の森づくり」を福井県、滋賀県、京都府、岐阜県の4府県5カ所で展開しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を全て中止とさせていただきました。

循環型社会への貢献

平和堂リサイクルセンター

自社施設「平和堂リサイクルセンター」にて、資源の有効活用に取り組んでいます。ここでは、店頭回収したペットボトルや納品用ハンガーなどのプラスチック類、不要になった不燃物などを回収し、プラスチック・金属・ガラスなど、種類ごとに手選別で解体・分別しています。

分別されたものは固形燃料(RPF)化等の処理をしてリサイクルされており、特にプラスチック類は、素材ごとに破碎処理することで、リサイクル率を向上させています。

2020年度のリサイクル率は、90.5%で1,184tを資源として再活用できるようにしました。



食品リサイクル

店舗で発生する食品廃棄物の抑制に取り組むとともに、食品リサイクルを推進しています。

2020年度は従来の魚アラ、野菜・果物くずに加え、一部エリアでデリカくずのリサイクルも開始しました。

この食品リサイクルにより堆肥化された野菜くずは「循環エコ野菜」に活用されるほか、リサイクル飼料として、畜産にも利用されています。年間の食品廃棄物の発生量は6,758t、リサイクル率60.2%でした。

店頭での容器回収とリサイクルステーション

地域のリサイクル活動に貢献できるよう、店頭で専用回収BOXを設置し、使用済みの牛乳パック、食品トレイ(発泡・透明)、ペットボトルの回収を行っています。

また、リサイクルステーション(エコすぽっと、Rステーション、ecoひろば[※])では、お客様が持参された資源の重量に応じて専用カードにポイントが加算され、500ポイントで平和堂商品券と交換することができます。

※ ecoひろばは、5,000ポイントで平和堂商品券と交換になります。

リサイクルステーション回収実績(2020年度)



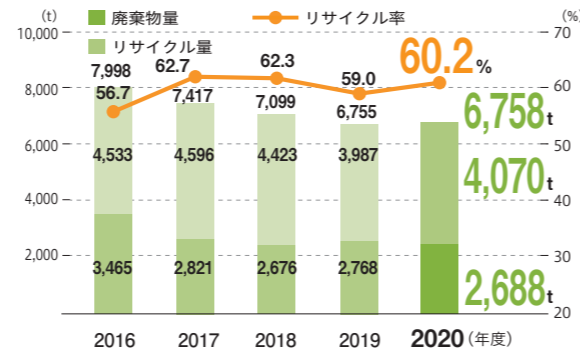
廃棄物の削減

廃棄物のリサイクル率を向上させ、最終廃棄処分量を削減するために、廃棄物の総発生量・リサイクル量・最終処分量を管理しています。

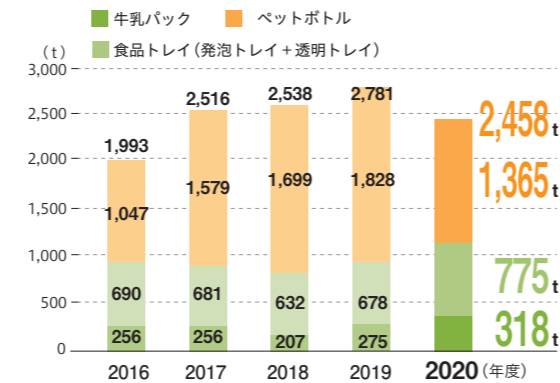
2020年度の発生量は43,131tで、前年に比べ35,742t増加しました。リサイクル量は30,783tで593t増加し、最終処分量は12,347tで3,664t増加しました。



食品リサイクル量の推移



店頭回収量の推移



低炭素社会の実現

2020年度は、既存店舗のLED化を中心に一次エネルギー削減に取り組み、リーチインケースの結露防止ヒーターの制御を行う省エネ設備等を導入しました。また、改装(7店舗)に連動して最新の代替フロン(低GWP^{※2}冷媒ガスR-448A他)の冷凍設備を更新しています。省エネ設備に切り替えることで低炭素社会の実現、地球温暖化防止に努めています。 ※2 GWP 地球温暖化係数



LED化された店内の照明

有料レジ袋収益を寄付贈呈

平和堂は、環境保全活動の一環として食品売場のレジ袋の無料配布を中止としています。

詳しくは特集 P18 有料レジ袋の販売収益金は府県の緑化推進会などに寄付し、地域の小学校や幼稚園の緑化事業「平和の緑づくり」活動や環境に配慮した緑化を推進する取り組みに役立てていただいています。

2020年度は、2019年2月21日から2020年2月20日までの1年間の有料レジ袋収益金300万円を滋賀県緑化推進会様に寄付しました。また、2020年度の「平和の緑づくり」活動は、滋賀県内3カ所を含む全8カ所で実施されました。



▲小椋総務部長兼社長室長(左)から細江名誉会長(滋賀県議会議長)へ目録贈呈

COLUMN 有料レジ袋収益金の寄付と寄付金を活用した「平和の緑づくり」植樹

幼稚園や小学校で植樹を行う「平和の緑づくり」活動は、コロナ対策のため、ほとんどの会場で植樹式を取りやめ、苗木の提供を行いました。コロナが収束した時期に、石川県の木場小学校と大阪府の柱本保育園には、近隣店舗から支配人(店長)が植樹式に駆け付けました。

平和の緑づくり活動一覧

行政区	寄附先	備考
滋賀県	「滋賀県緑化推進会」	「平和の緑づくり」植樹3ヶ所
石川県	「石川県緑化推進委員会」	「平和の緑づくり」植樹1ヶ所
京都府	「京都モデルフォレスト協会」	「平和の緑づくり」植樹1ヶ所
大阪府	「大阪みどりのトラスト協会」	「平和の緑づくり」植樹2ヶ所
愛知県	「愛知県緑化推進委員会」	地域の小学校へ苗木の提供等
岐阜県	「岐阜県緑化推進委員会」	地域の小学校へ苗木の提供等
福井県	「福井県緑化推進委員会」	地域の小学校へ苗木の提供等
富山県	「富山環境財団」	地域の環境活動



▲11月19日(木) 高槻市柱本保育園[アル・プラザ香里園 支配人 吉田 昌弘]



▲11月11日(水) 小松市立木場小学校[アル・プラザ小松 店長 磯部たかし]

環境マネジメント

平和堂は、環境の国際規格(ISO14001)の認証を本部および全店で認証取得しており、社長をトップとした組織体制で環境マネジメントシステム(EMS)を運用しています。2020年度は8項目の目標のうち、7項目を達成できましたが、1項目は未達成でした。

社会情勢や取り巻く環境の変化に対応しながら、循環型社会に貢献していけるようさらなる取組みを進めていきます。

▶2020年度の目標と実績

◎ 目標を大幅に上回る ○ 目標達成 ✕ 目標を大幅に下回る

環境方針	2020年度目標	2020年度実績	
環境に配慮した商品づくりと提供を推進します	環境配慮型商品の販売拡大 環境セレクトの御奉仕高向上 環境セレクトの認知度向上 2019年度実績 138億円	140億円 15,948,258千円 (昨年比:114.9%)	◎
省エネルギー・省資源を推進します	一次エネルギー使用量の削減 (電気・ガス・石油類) エコストア省エネ設備導入推進 2019年度対比(原単位)kwh/h・㎡	1%削減 0.106kwh/h・㎡ 1.69%削減(原単位) (昨年:0.108kwh/h・㎡)	○
	配送車両の使用燃料の削減 センター配送便数2019年度対比 (1店舗あたり月平均)	1%削減 累計便数 平均166.7便 1.28%削減	○
	水道使用量の削減 2019年度対比(原単位)ℓ/h・㎡	1%削減 0.460ℓ/h・㎡ 5.60%削減(原単位)	◎
	紙の使用量削減 コピー用紙・POP用紙使用枚数 2019年度対比既存店舗総枚数/枚	1%削減 7.68%削減 (3,507,903枚)	◎
地球温暖化防止のため、CO ₂ 排出量を削減します	CO ₂ 排出量の削減 2019年度対比(原単位)	1%削減 54,564t-CO ₂ /h・㎡ 1.12%削減	○
廃棄物の削減と資源の有効活用に取り組みます	生ゴミのリサイクル率の向上 2019年度実績 59% (魚アラ・廃食油リサイクル等)	63% 60.2%	✕
地域社会の環境保全活動を支援します	平和堂エコピースクラブの拡大 子ども環境学習への参加団体の増加	120団体 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため募集を中止 ※出前授業方式で26団体実施	—

環境会計

平和堂では、環境保全のための投資や費用を定量的に管理し、その効果を金額として把握することで、取組みの一層の効率化を図るとともに、合理的な意思決定を行うための環境会計に取り組んでいます。

集計範囲 株式会社平和堂(単体) 対象期間 2020年2月21日~2021年2月20日

▶環境保全コスト

(単位:千円)

分類	主な取組み内容	2019年度		2020年度	
		投資額	費用額	投資額	費用額
(1) 事業エリア内コスト		887,857	997,479	947,926	1,045,081
内訳	(1)-1 公害防止コスト	24,400	138,908		126,315
	(1)-2 地球環境保全コスト	851,832	323	947,926	163
	(1)-3 資源循環コスト	12,075	858,248		918,603
(2) 上・下流コスト	容器包装リサイクル法再商品化委託料・お買い物袋持参エコポイント費		168,187		125,864
(3) 管理活動コスト	ISO審査登録コスト・専任者人件費 社員教育・CSR報告書作成費		30,654		31,381
(4) 研究開発コスト		—	—	—	—
(5) 社会活動コスト	平和の森づくり・有料レジ袋収益金寄附 環境展出演・子ども環境学習		15,997		14,804
(6) 環境損傷対応コスト		—	—	—	—
合計		887,857	1,212,317	947,926	1,217,130

■環境保全効果

①事業エリア内コストに対応する効果

分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2019年度	2020年度
事業活動に投入する資源に関する効果	電気使用量 (MWh)	279,043	273,298
	ガス使用量 (千m ³)	2,606	2,606
	重油・灯油使用量 (kl)	1,486	1,325
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	軽油使用量 (kl)	4,787	4,642
	水道使用量 (千m ³)	1,487	1,379
	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	157,796	154,124
	廃棄物総排出量 (t)	43,096	43,131
	廃棄物最終処分量 (t)	8,683	12,347
	排水量 (千m ³)	1,487	1,379

②上・下流コストに対応する効果

分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2019年度	2020年度
事業活動から産出する財・サービスに関する効果	レジ袋使用削減枚数(千枚)	193,467	191,147
	牛乳パック回収量(t)	275	318
	食品トレイ回収量(t)	678	775
	ペットボトル回収量(t)	1,828	1,365

■環境保全対策にともなう経済効果

(単位:千円)

効果の内容		2019年度	2020年度
収益	店頭回収品リサイクル売却益	42,286	40,978
	有料レジ袋収益金	11,075	12,570
費用節減	省エネ設備導入効果	149,196	44,645
	お買い物袋持参推進によるレジ袋費の節減	432,585	533,099
	レジ袋使用減による容リ法再商品化委託料の節減	46,294	52,855
	リサイクル推進による廃棄物処理費の節減	16,306	8,107
合計		698,072	679,684